

第12部

財政

第1章 財政

- 210 決算の全体像
- 211 一般会計 歳入・歳出の状況

第2章 県税

- 212 主要税目の税収額

第3章 市町村財政

- 213 市町村財政力指数
- 214 市町村経常収支比率
- 215 市町村職員の給与水準
- 216 市町村税徴収率



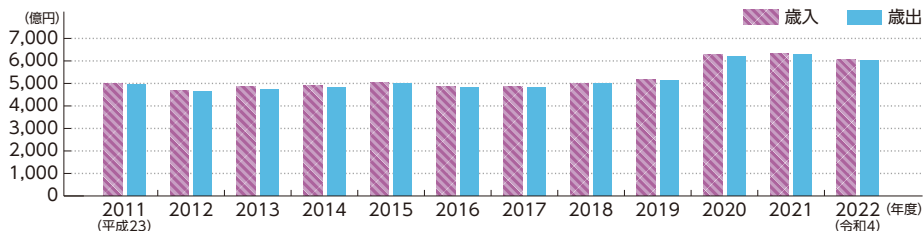


決算の全体像

2022(R4)年度決算では、歳入は6,079億円、歳出は6,019億円、実質収支は28億円となりました。

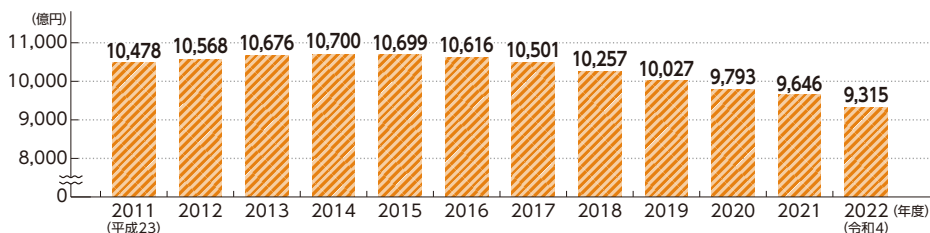
歳入と歳出の推移

資料：県財政課



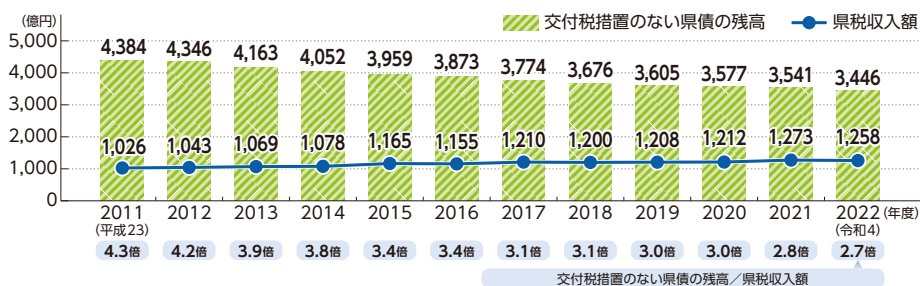
県債残高総額の推移

資料：県財政課



交付税措置のない県債残高および県税収入額の推移

資料：県財政課



県の借金である県債残高総額は、ピークであった2014(H26)年度末から約1,390億円減少しました。

交付税措置のない県債残高は、2011(H23)年度末から約940億円減少しました。

交付税措置のない県債残高の県税収入額に対する割合は、2011(H23)年度末から大きく改善しました。



一般会計 歳入・歳出の状況

歳入は6,079億円・歳出は6,019億円

2022(R4)年度の一般会計歳入は、県税、地方交付税等の主要な一般財源が、前年度4,138億円から3,971億円と167億円減少しました。また、国庫支出金、繰入金、臨時財政対策債を除く県債なども減少し、歳入全体では6,079億円となっています。

一般会計歳出は、義務的経費では扶助費が前年度169億円から183億円に増加しました。また、公債費は交付税措置のない県債の発行を極力抑制してきたこと等により、前年度817億円から796億円に減少しました。

普通建設事業費等は、国道169号高原トンネル復旧事業の地すべり対策工が本格化し、災害復旧事業費が増加した一方で、県立高校の耐震化工事が完了したこと等により普通建設事業費が減少したため、前年度907億円から789億円に減少しました。

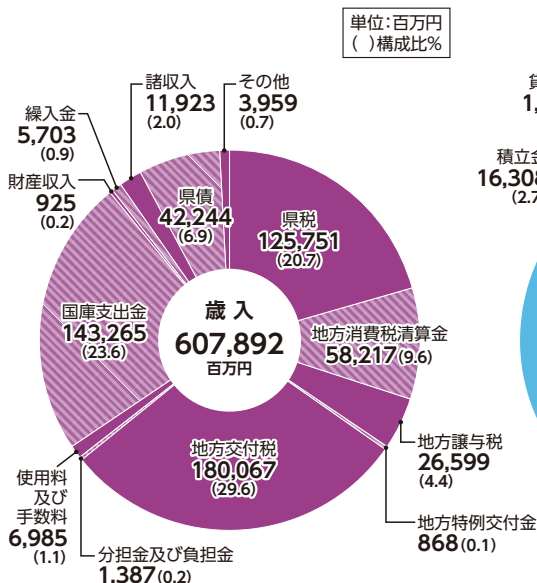
補助費等は、社会保障関係経費が引き続き増加したものの、新型コロナウイルス感染症対策事業費の減少等により、前年度2,125億円から2,047億円に減少しました。

また、積立金は、地域医療介護総合確保基金等への積立が増加したものの、地域・経済活性化基金や医大・医療センター等整備基金、新型コロナウイルス感染症対応中小企業金融支援基金等への積立が減少したことにより、前年度332億円から163億円に減少しました。

歳出全体では、6,019億円となっています。

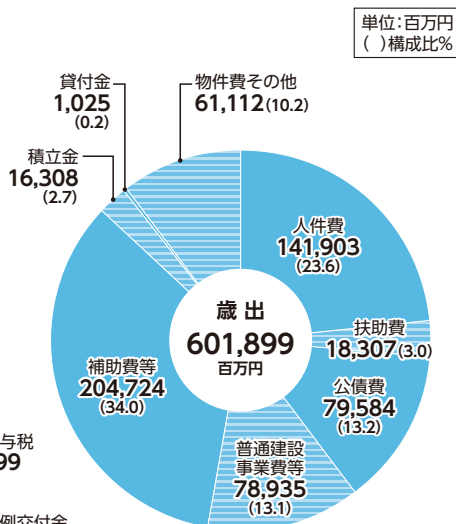
歳入(2022(R4)年度)

資料：県財政課



歳出(2022(R4)年度)

資料：県財政課



※四捨五入の関係で端数において一致しない場合がある。